

8. 試験への参加と辞退について

この試験への参加は患者様の自由意志によるものです。また、いったん同意した後でも取り消すことはいつでもできますので、ご遠慮なく申し出てください。なお、この試験への協力を拒否したり、同意を取り消しても、検診上の不利益を受けることは一切ありません。

9. 利益相反について

この研究に関わる全ての関係者は、本研究に関係するいかなる企業、団体からも金銭その他の利益の供与を受けていません。

10. 試験の相談窓口について

この試験の内容など、何かわからないことや気になること、聞きたいことがありましたら、どのようなことでも遠慮なく下記の研究責任者におたずねください。

【研究責任者の所属・氏名】

国立長寿医療研究センター 遺伝子蛋白質解析室 室長 新飯田俊平

【連絡先】 電話 0562-46-2311 (内線 5901)

【対象とする疾患名】 骨粗鬆症、骨量減少症

基本的事項

整理番号()
(こちらで記入します)

フリガナ

1. 名前:

住所: 東浦町

TEL:

2. 生年月日: 年 月 日(歳)

3. 身長: センチメートル

4. 体重: キログラム

5. 閉経年齢: 歳

6. 若い頃より身長が低くなった: はい ・ いいえ
(はい)の方におたずねします。(若い頃の最大身長 cm)

7. 過去に骨密度測定をしたことがある。

はい (検査部位に○をつけてください *複数回答可)

うで かかと 腰の骨 大腿骨

その他()

いいえ

8. この調査(H21～H23年度は尿による骨検診)を受けたことがありますか。

はい (検診結果は次のどれに該当しますか)

①異常なかった

②経過観察だった

③要精密検査だったが病院で受診していない

④精密検査を受けたが異常なかった

(検査部位)

⑤精密検査を受け経過観察となった

(検査部位)

⑥精密検査を受け投薬治療を受けている

(検査部位)

⑦以前より投薬治療をうけている

いいえ

9. 飲んでいるサプリがあれば○をつけてください

カルシウム剤 ビタミンC ビタミンD

ブルーベリー類(アントシアニン)

ポリフェノール類 その他()

骨粗鬆症チェック票

それぞれの質問に答え、あてはまる点数を右の欄に記入してください。

1. 年齢はおいくつですか？

60歳未満 ; 1点

60歳～64歳 ; 2点

65歳～74歳 ; 3点

75歳以上 ; 4点

 点

2. 背中、手首、股関節、肩の骨を折ったことがありますか？

はい=1点 ・ いいえ=0点

 点

3. ご両親が股関節の骨折をおこされたことがありますか？

はい=1点 ・ いいえ=0点

 点

4. タバコはお吸いですか？

はい=1点 ・ いいえ=0点

 点

5. ステロイド（プレドニンなど）を内服していますか？

はい=1点 ・ いいえ=0点

 点

6. 関節リウマチもしくは骨粗鬆症に関連する病気*にかかっていますか？

はい=1点 ・ いいえ=0点

 点

7. お酒（ビール）を1日1.5合（ビールなら大瓶1.5本）以上飲みますか

はい=1点 ・ いいえ=0点

 点

8. 合計点を右の欄に記入してください。

合計 点

*) 骨粗鬆症に関連する病気とは、I型糖尿病や胃手術後などの吸収不良などをさします。

腰椎・大腿骨の骨密度測定をうけましょう

同 意 書

平成 年 月 日

研究責任者 新飯田 俊平 殿

住 所 〒

同意者（自署）

私は、下記の課題の検査（研究）の目的について十分に理解し、納得しましたので、その検査（研究）に参加することに同意します。また、検査結果（町の実施した骨検診結果を含む）が研究目的で使用されることにも同意いたします。

記

（説明文（黄色の紙）を読んでご理解頂いた項目の□にチェックを入れてください）

1. 試験の目的
2. 検査対象者の抽出方法
3. どんな検査法か
4. 試験の方法
5. 結果の通知方法
6. 健康上の被害と補償について
7. 個人情報の保護について
8. 試験への参加と辞退について
9. 利益相反について
10. 試験の相談窓口について

Multi Frequency Segmental Body
Composition Analyser

MC-980A™

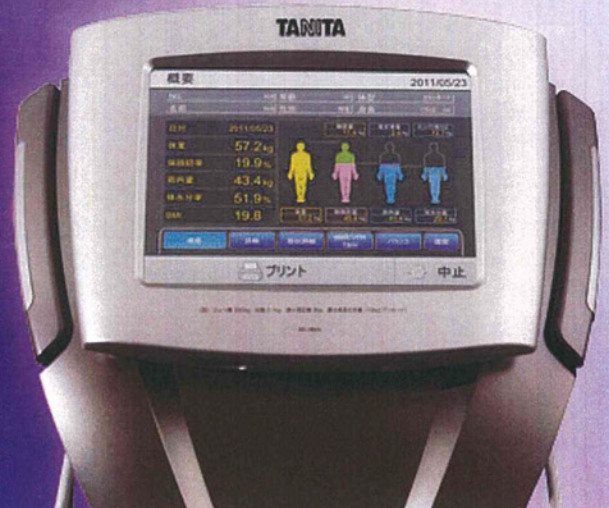
様々な分野でサポートするタニタの体組成計

スポーツ施設・
フィットネスクラブ

医療施設

リハビリテーション

大学・研究施設

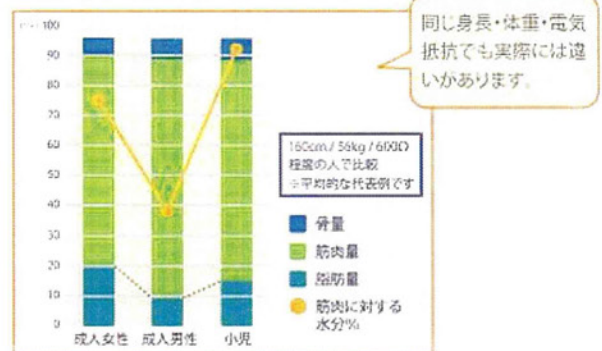


豊富な臨床試験に基づいて開発された高精度モデル

体組成計研究のパイオニアであるタニタのBIA体組成計は、豊富な臨床試験データに基づいて開発されています。

人体の多様性を反映しているため 誤差が少ない

タニタのBIA体組成計は、多様性(人種・体格・年齢・性差など)に対応した高精度な測定が可能です。他で見られる単純なBIA仮説モデル(人体を単純な円筒形と仮定したモデル)を適用した体組成推定とは異なります。なぜなら、円筒形と仮定したモデルでは体内組織形状(骨格や密度など)の違い等が測定値に反映されず、誤差が大きくなるからです。豊富なデータをもとに開発されているタニタのBIA体組成計は、年齢や性差により異なる体内組織形状や水分バランス等の違いをも反映した誤差の少ない測定値が得られます。

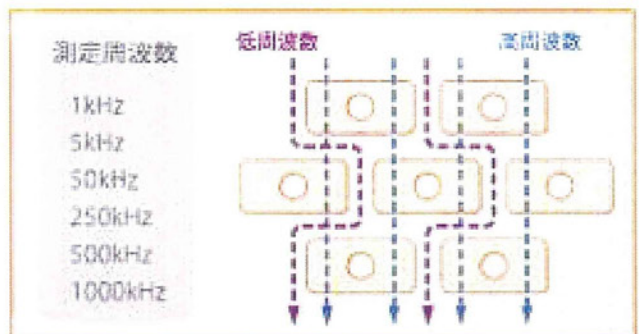


誤差が少ないので他の健診結果と比較可能

タニタのBIA体組成計による体脂肪率や内臓脂肪レベルは、メタボリックシンドロームの診断や血中脂質、血圧などの個々の測定結果と良好な相関があり、健診結果との比較検討に有効です。

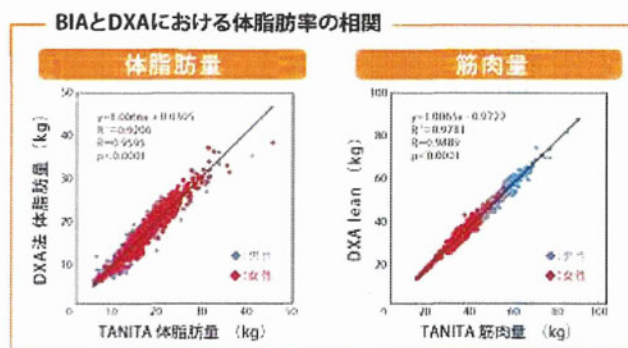
6つの周波数で精度の高い測定が可能

6つの周波数でのBIA測定により、正確な筋肉量、体水分量、体脂肪率の算出が可能になりました。



DXAとの相関係数は、小児から高齢者まで すべて0.9を超える高精度

タニタでは6つの周波数によるBIA分析に加え、リアクタン
スまで分析し、体格差や性差、水分変動に対応した高精度
な測定技術の開発を実現しました。そのため、これほど
簡便な測定でありながら、体組成測定の基本となるDXA
測定との比較では、小児から高齢者まで筋肉量・脂肪量と
もに相関係数 $r=0.9$ を超え、他社の追随を許さない非常に
低い標準誤差での測定が可能となっています。



測定スピードが速い

周波数を増やしながらも測定時間は短く、約30秒で測定できます。この速さは同等機能商品の測定時間より約25%削減されたスピードです。(タニタ調べ)

ユーザーフレンドリーで使いやすい

大きなディスプレイで簡単に入力可能

タッチパネル付液晶ディスプレイは10.4型と大型設計。(従来比約4倍)



「BURU タッチモニター」を搭載

画面接触時にタッチパネルがブルッと振動しますので、スタジオやフィットネスジムなど、大音量での環境下でも押した感触を確実にフィードバックします。



測定台が薄くて乗りやすい

高さが65mmの薄型設計なので測定時に負担がかかりません。



運用を考慮した設計

汎用性の高いプリント機能

MC-980A は OS として Windows® を搭載していますので、測定結果の出力にお手持ちの Windows®XP 対応プリンタをご使用いただくことが可能です。また、専用プリンタもオプションでご用意しております。※プリンタについての詳細はお問い合わせください。

測定・保存・管理がオールインワン

測定データの変化の傾向を見ることで、トレーニングや健康管理の成果がわかります。MC-980A には長期にわたって使用しやすい機能が充実しています。

- 1) 測定者の履歴をディスプレイ内部で保存可能
- 2) 約3000名 各100回分(当社計算値)の測定データの保存が可能
- 3) ディスプレイ上で保存データの検索、削除等の加工が可能
- 4) USB ポートを介して外部出力が可能

体重証明に使用可能

体重計は型式承認取得品なので、体重の証明用に使用できます。

※Windows は米国 Microsoft corporation の米国及びその他の国における商標または、登録商標です。



測定結果が見やすい・分かりやすい

TANITA
タニタ

Body Composition Analyzer

MC-980A



1 全身チェック

測定数値を表示します

体重

ひょう量300kgなので体格を選ばず多くの方を測定できます。

体脂肪率

体内に占める脂肪組織の割合です。本質的な肥満の判定には体重ではなく体脂肪率が基本となります。

脂肪量

体内に含まれる脂肪分を質量で表わしています。

除脂肪量

体重から脂肪量を引いた質量です。

推定骨量

骨全体に含まれるカルシウムなどのミネラル量を「骨量」と言います。

筋肉量

姿勢を保ったり、心臓を動かしたりする筋肉組織（骨格筋、平滑筋、水分量）の質量です。

体水分量

血液やリンパ液、細胞間液、内臓内液など体内に含まれる水分量を表しています。

タンパク質など

筋肉量から水分量を引いた質量です。タンパク質が主になります。

BMI

「体重／身長(m)²」で計算されます。疾病が少ないのはBMI値22とされています。

※17才以下はBMIの表示はされません。また、体脂肪率・脂肪量以外の標準範囲は表示されません。

2 部位の分析

トレーニングの効果指標に役立ちます。

脂肪と筋肉を部位別に分析した値です。部位ごとの数値判定など、プロポーション作りや筋力トレーニングに必要な情報を提供します。

※17才以下は測定値のみ表示されます。

3 ボディバランス

筋肉量左右バランスチェック

左右の腕と足の筋肉量を比較し、バランスをチェックします。

脚部筋肉量点数

体重に占める下肢の筋肉量を指標化し、加齢により衰えやすい脚力を評価します。

※17才以下は表示されません。

4 測定結果の履歴

体組成の変化を分かりやすく表示します。

測定結果のグラフでは、体重、体脂肪量、筋肉量、アスリート指数の履歴（初回値と過去12回分まで）を表示します。目標値の設定がされていると、設定値がグラフ上に表記されるので、測定者のモチベーションの向上にも役立ちます。

※17才以下は体重・体脂肪率・筋肉量のみ表示されます。

5 体脂肪率と筋肉量による体型判定

体脂肪率と筋肉量を考慮した体型判定を行います。

前回値や目標値もプロットされるので、目指している体型も一目瞭然です。

※17才以下は体重・体脂肪率・筋肉量のみ表示されます。

6 BMR VFA、アスリート指数

測定結果を分かりやすくバーで判定します。

基礎代謝量 (BMR)

測定者の体組成に基づいた基礎代謝を表示・判定します。

内臓脂肪レベル (VFR)

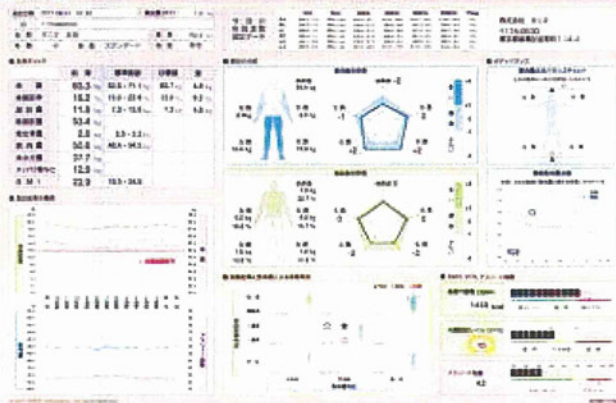
腹腔内(内臓のまわり)についての脂肪をレベル表示します。

アスリート指数

測定者の体組成がどのぐらいプロスポーツ選手などのアスリートに近いのかを数値化しています。

※17才以下は体重・体脂肪率・筋肉量のみ表示されます。

TARITA Body Composition Analyzer **MC-980A**



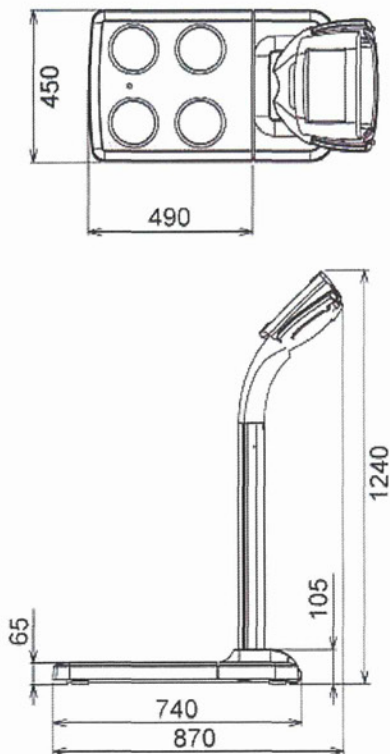
結果用紙(表面)



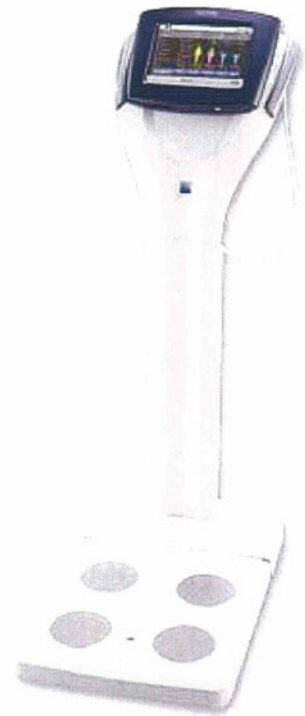
結果用紙(裏面)

専用印刷台紙裏面には詳細な解説がありますので、測定結果各項目について容易にご理解いただけます。

MC-980A 外形寸法 (mm)



プレミアムゴールド
メタリック



ホワイト&ネイビー

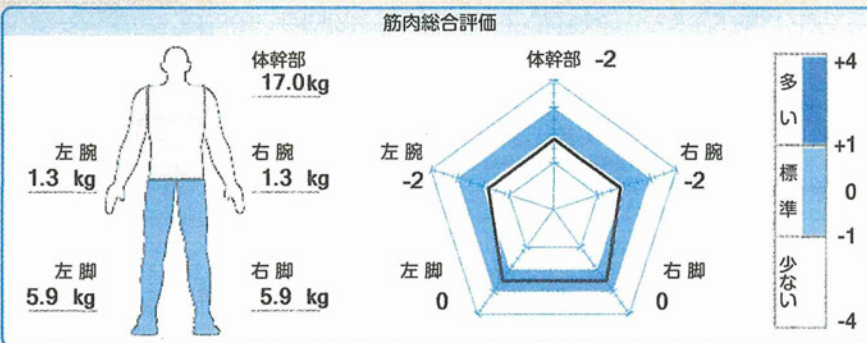
測定日時	2012/05/31 13:53	着衣量	0.5 kg
No.	000000000053102		
名前		身長	151.5 cm
年齢	38	体型	スタンダード
		性別	女性

今回の各周波数測定データ		+	1kHz	5kHz	50kHz	250kHz	500kHz	1000kHz	位相差
	H-L		R/Xc	R/Xc	R/Xc	R/Xc	R/Xc	R/Xc	(50kHz)
	RL	881.2 / -19.1	851.9 / -36.6	759.0 / -71.7	686.4 / -89.9	662.3 / -81.7	606.7 / -137.2		-5.4
	LL	333.5 / -4.9	326.9 / -12.1	293.8 / -25.2	268.5 / -20.7	260.3 / -21.1	249.9 / -24.6		-4.9
	RH	329.1 / -7.4	322.7 / -12.0	290.9 / -24.4	266.7 / -20.7	258.4 / -21.2	248.0 / -25.1		-4.8
	LH	504.3 / -6.4	485.5 / -23.1	426.4 / -47.1	376.5 / -50.6	357.5 / -61.3	310.9 / -109.3		-6.3
	L-L	519.2 / -5.7	498.1 / -23.2	439.5 / -45.7	391.1 / -48.1	374.0 / -56.5	334.1 / -97.0		-5.9
		664.2 / -9.6	648.7 / -23.9	583.3 / -50.4	531.9 / -41.8	516.3 / -40.3	501.0 / -45.0		-4.9

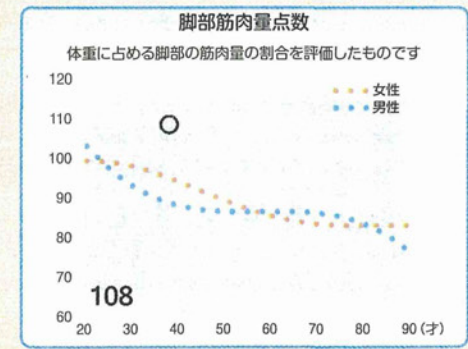
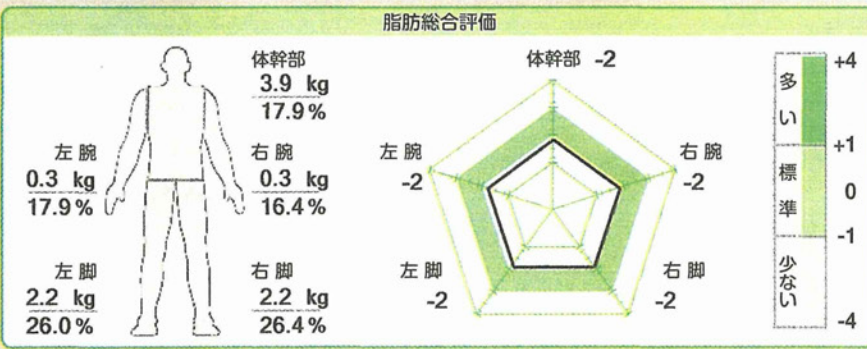
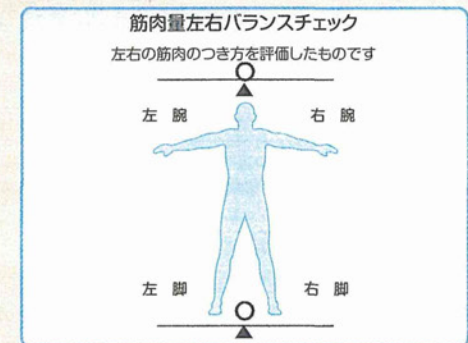
■ 全身チェック

	結果	標準範囲	目標値	差
体重	42.0 kg	42.5 - 57.2 kg	kg	kg
体脂肪率	21.3 %	21.0 - 34.9 %	%	%
脂肪量	8.9 kg	8.8 - 17.7 kg	kg	kg
除脂肪量	33.1 kg			
推定骨量	1.7 kg	1.8 - 2.5 kg		
筋肉量	31.4 kg	31.7 - 36.1 kg		
体水分量	23.1 kg			
タンパク質など	8.3 kg			
BMI	18.3	18.5 - 24.9		

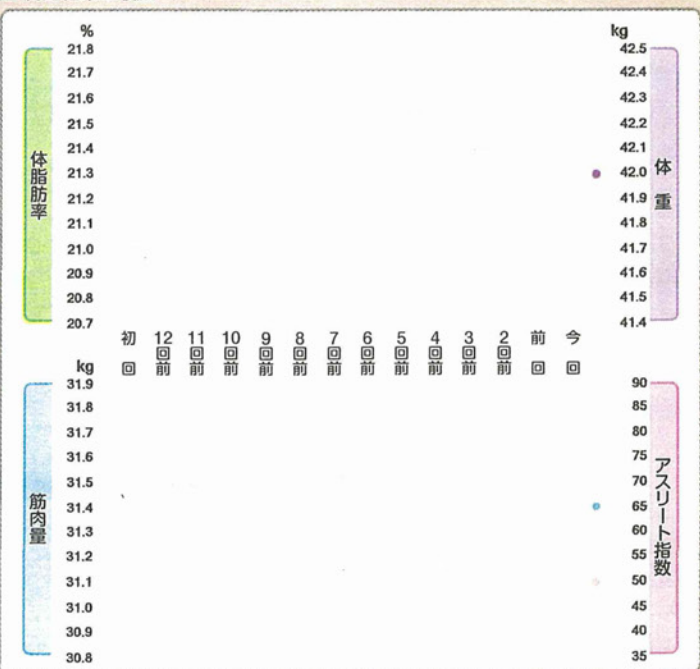
■ 部位の分析



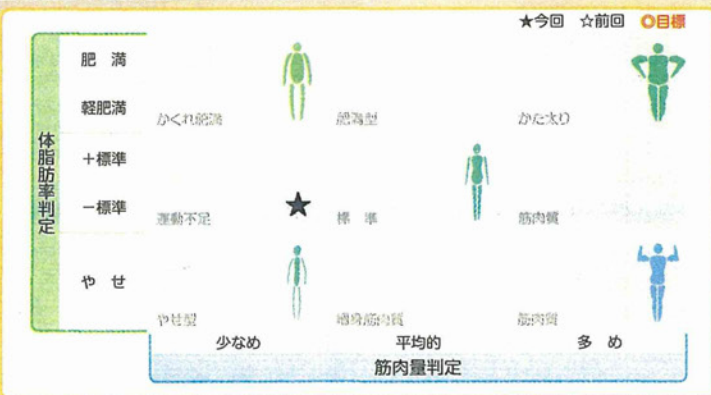
■ ボディバランス



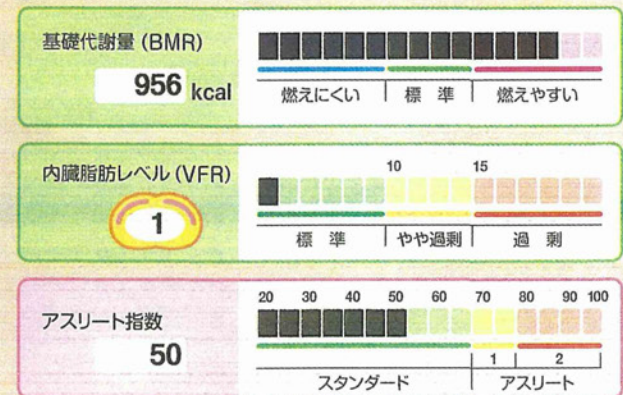
■ 測定結果の履歴



■ 体脂肪率と筋肉量による体型判定



■ BMR, VFR, アスリート指数



■ 全身チェック

体 重	測定した体重です。BMIが18.5～24.9になる値を標準体重範囲としています。
体 脂 肪 率	体重に対して脂肪がどれだけであるか、割合で示したものです。
脂 肪 量	体内に占める脂肪組織を重量で示したものです。
除 脂 肪 量	体重から脂肪を除いた重量です。
推 定 骨 量	骨に含まれるカルシウムなどのミネラル量を推定したものです。
筋 肉 量	脂肪量と推定骨量を除く組織量で、姿勢を保ったり、心臓を動かしたりする筋肉組織（骨格筋、平滑筋、水分量）の重量です。
体 水 分 量	からだの水分量のこと、血液やリンパ液、細胞間液、細胞内液などからなります。
タンパク質など	筋肉量から水分量を引いた重量で、タンパク質が主になります。
B M I	「体重 (kg) / 身長 (m) ² 」で計算され、疾病が少ないのは「22」とされています。

※標準範囲はスタンダードモード用のものですのでアスリートモードのご利用の方は参考値としてください。

*17才以下の方は、測定結果と体脂肪率、脂肪量の標準範囲のみ印字されます。

■ 測定結果の履歴

測定者登録を行うことで、結果表示に体重、体脂肪率、筋肉量、アスリート指数の履歴（初回と過去12回分まで）を表示します。各グラフの表示色は左右の項目表示の色と同じになっています。目標値が設定されていると、グラフ上に表記されます。

*17才以下の方は、アスリート指数履歴は印字されません。

■ 部位の分析

部位別の脂肪率と筋肉量を、-4から+4の9段階で評価します。（人体図は3区分表示）

部位筋肉量：トレーニングの結果や左右バランスを確認できます。

部位体脂肪：どの部位が全身の体脂肪率を押し上げているかなどを確認できます。

少なめ	標準	多め
-4, -3, -2	-1, 0, +1	+2, +3, +4

*17才以下の方は、測定値のみ印字されます。

■ 体脂肪率と筋肉量による体型判定

体脂肪率と筋肉量を合わせて総合的に体型を評価しています。

体重だけでは見分けられない体組成が一目瞭然です。

現状の体型を認識していただき、よりバランスのとれた体型を目指すための指標となります。

18才以上の体脂肪率判定基準は下の通りです。

		や せ	-標準	+標準	軽肥満	肥 満
男 性	18-39才	11%未満	17%未満	22%未満	27%未満	27%以上
	40-59才	12%未満	18%未満	23%未満	28%未満	29%以上
	60才以上	14%未満	20%未満	25%未満	30%未満	30%以上
女 性	18-39才	21%未満	28%未満	35%未満	40%未満	40%以上
	40-59才	22%未満	29%未満	36%未満	41%未満	41%以上
	60才以上	23%未満	30%未満	37%未満	42%未満	42%以上

WHOと日本肥満学会の肥満判定に基づき、DXA法(二重X線吸収法)によって作成しました。

*17才以下の方は、体脂肪率判定のみ印字されます。

■ 筋肉量左右バランスチェック ★

腕と脚の左右筋肉量を比較して、その差が大きいと、バーが傾きます(5段階)

バランスチェックは、身体の変調原因を予測したり、四肢のリハビリテーションなどの効果を評価する際にも有効です。

■ 脚部筋肉量点数 ★

脚点(脚部筋肉量点数)とは、体重に占める脚の筋肉量の割合が理想的とされる値と比較して、今のあなたの割合がどの程度なのかを点数で表示したものです。脚の筋肉量が減少すると、転倒の原因になったり、歩く速度が低下して、日常生活に支障が生じやすくなります。

90～150点	良 い
80～89点	やや低い
50～79点	低 い

■ 基礎代謝量(BMR) ★

基礎代謝とは「生きていくために最低限必要なエネルギーのこと」で、同じ体重でも筋肉量が多い人の方が基礎代謝は高くなります。基礎代謝基準値の年代ごとの平均値と統計的分布に基づいて、基礎代謝を「燃えにくい - 標準 - 燃えやすい」で表示します。

年齢(才)	男 性		女 性	
	基準値 (kcal/kg/日)	基礎代謝量 (kcal/日)	基準値 (kcal/kg/日)	基礎代謝量 (kcal/日)
18～29才	24.0	1550	23.6	1210
30～49才	22.3	1500	21.7	1170
50～69才	21.5	1350	20.7	1110
70才以上	21.5	1220	20.7	1010

「性別・年齢別基礎代謝基準値と基礎代謝量の平均値」

■ 内臓脂肪レベル(VFR) ★

内臓脂肪は腹筋の内側についた脂肪
 のことで、1～59でレベル表示します。

	標準	やや過剰	過 剰
レベル	9以下	10～14	15以上

■ アスリート指数 ★

測定者の体組成がどのくらい、プロスポーツ選手などのアスリートに近いのかを数値化しています。

※アスリート指数が“アスリート”域に達した方は体型選択を“アスリート”にして測定ください。
 アスリート1、アスリート2共アスリートの分類ですが、アスリート2はプロスポーツ選手などからだの質に特に適合を示しています。

アスリート指数	カテゴリー
20～69	スタンダード
70～79	アスリート1
80～120	アスリート2

※アスリート指数は微細な変化を数値化しているため、日内変動や運動・体調などの変化に敏感に反応します。従って、境界域にある方はカテゴリー間の移行が頻繁に起こることがございます。測定条件を一定にしても移行が頻繁な場合は、スタンダードモードでの測定をお勧めします。

★…この項目については、17才以下の方は印字されません。

健康度評価

健康状態を総合的にチェックし、改善ポイントを見つけます。

Aコース

所要時間の目安：約2.5時間

メディカルチェック

- 診察 ■ 血液検査 ■ 血圧 ■ 腹囲 ■ 身長 ■ 体重
- 体脂肪率(インピーダンス法) ■ 安静時心電図 ■ 運動負荷心電図

生活習慣チェック

- 生活習慣問診 ■ 食生活習慣問診

体力チェック

- 全身持久力(推定最大酸素摂取量) ■ 柔軟性(長座体前屈)
- 平衡性(重心動揺) ■ 敏捷性(全身反応時間) ■ 筋力(脚伸展パワー)



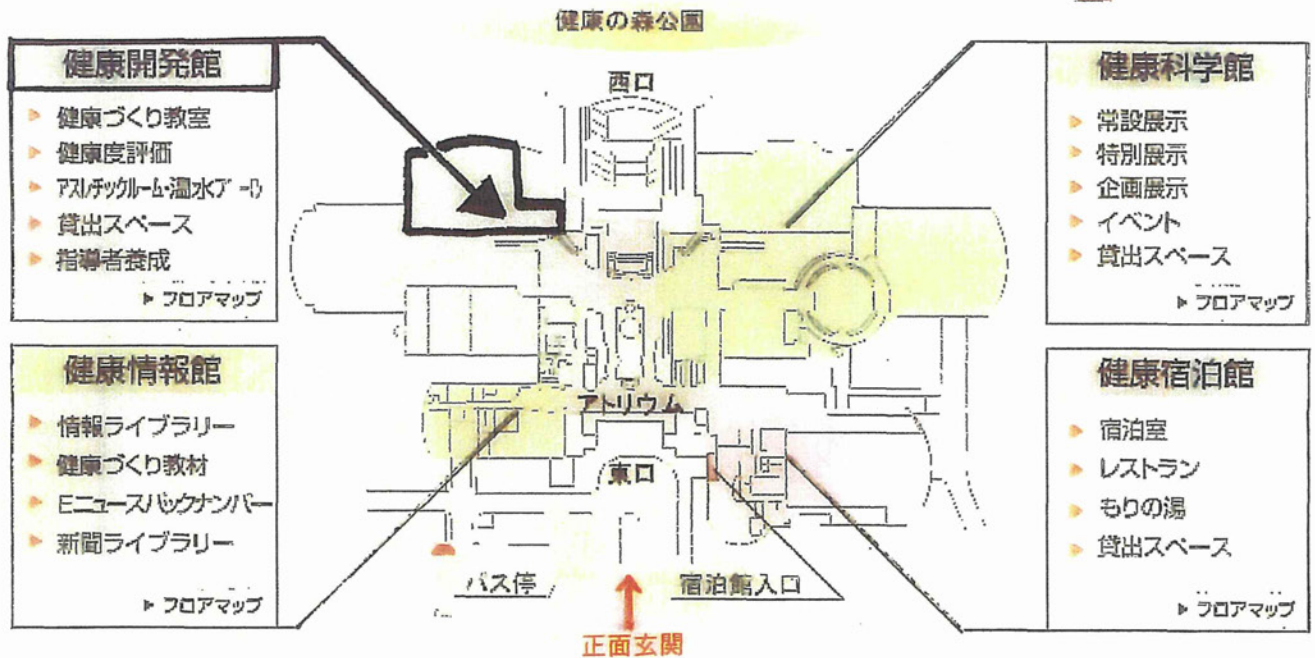
Bコース

所要時間の目安：約3時間

Aコース



- X線骨密度測定 ■ 歯科検査 ■ 尿検査



予 約 票

整理番号 ()

月 日 時 分

あいち健康プラザ 健康開発館 1F受付までお越し下さい。

- * 当日は、検査着に着替えていただきます。
- * 予約日のご都合が悪くなられましたら、必ずご連絡をお願いします。
その場合、ご無理でなければ代替え日をお願いしております。

国立長寿医療研究センター 遺伝子蛋白質解析室 河合
【連絡先】 電話0562-46-2311 (内線5901)

健康度評価結果表

Bコース

利用者番号： 000349796 受診日： 平成24年 9月 7日

氏名：

様

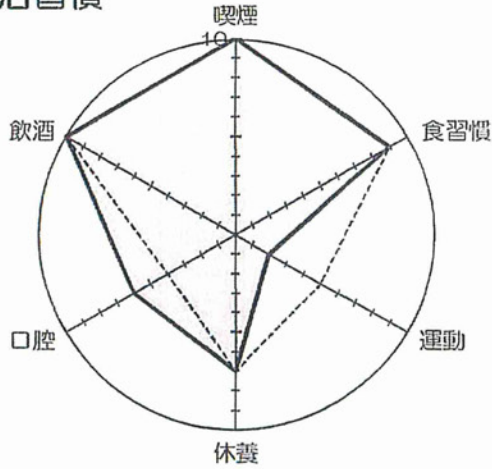


あいち健康プラザ

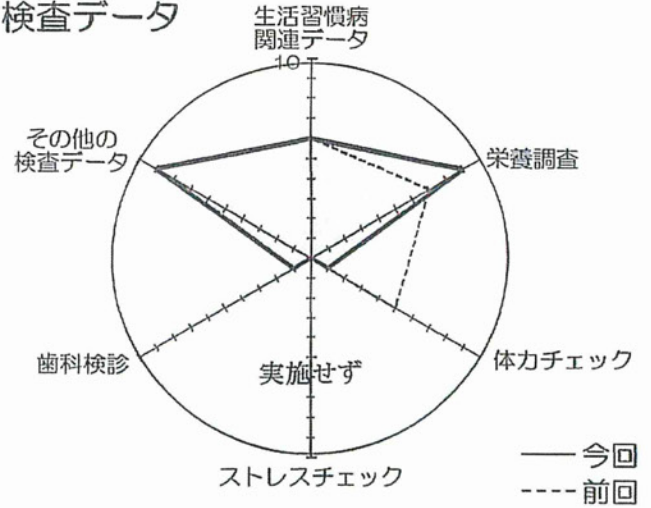
〒470-2101 知多郡東浦町大字森岡字源吾山1番地の1
TEL (0562)82-0211 (代表)

総合結果表	利用者 番号	000349796	ワカナ 氏名	様 性別：女 年齢：61 歳
	検査日平成24年 9月 7日 受付番号 3004	受診コース プログラム	Bコース 前回検査日平成23年 3月11日 前回コースAB効果	

生活習慣



検査データ



運動

＜現在の運動習慣＞
運動習慣はありません。



＜アドバイス＞
※健康関連体力は、「全身持久力」「筋力」「柔軟性」の3項目です。各結果表にそれぞれの結果についてコメントを記していますので、ご参照ください。
※今後は「運動おすすめメニュー」を参考にしながら、運動を実践してください。

医療

＜自覚症状＞
膝関節痛

＜治療中の病気＞
高血圧 糖尿病 脂質異常症

体重をコントロールしましょう。

生活習慣を改善し、定期的に医療機関を受診して下さい。
糖尿病

食事

＜あなたが気になる食行動＞
・食習慣は良好です。



適正量 1568 kcal
摂取量 1308 kcal

喫煙

ぜひこの生活習慣
をお続け下さい。

飲酒

特に問題ありませ
ん。



歯科

定期的に歯科健診・歯石除去を受けておくことは将来の安心につながります。是非前向きにご検討ください。詳しくは歯科健診結果表をご覧ください。

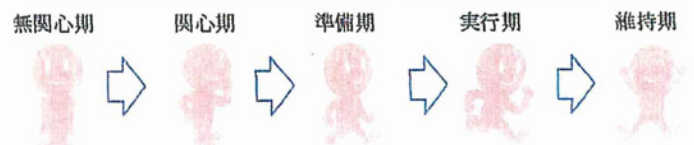


休養

＜睡眠時間＞ まあある
＜自由になる時間＞ まあある
＜休養自己評価＞ まあまあ
・これからも睡眠時間、ゆとりの時間は十分に持ちましょう。



＜ストレスのタイプ＞



検査結果表 1

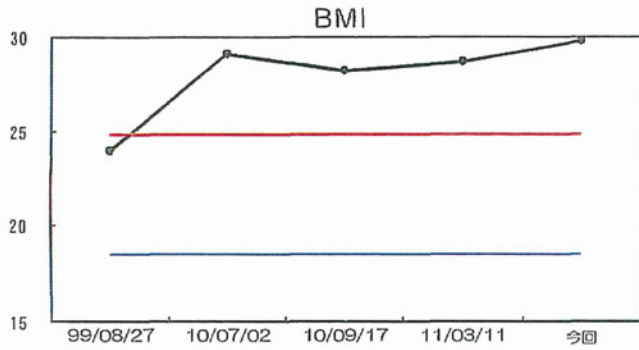
利用者番号		氏名		性別：女 年齢：61歳		今回検査日 平成24年 9月 7日 (B) 前回検査日 平成23年 3月11日 (B)	
検査項目		2010. 09. 17	2011. 03. 11	今回		基準値	判定
検査日 (持参データ)							
一般	身長	159.8	159.5	159.5	cm		肥満Ⅰ度 (生活習慣改善)
	体重	72.1	73.1	75.9	kg		
	肥満度 (BMI)	* 28.2	* 28.7	* 29.8		18.5~24.9	
	体脂肪率 (BODPOD)				%		
	体脂肪率 (インピーダンス)	** 39.7	*** 41.3	*** 41.0	%	~29.9	
	体脂肪量	28.6	30.2	31.1	kg		
循環器	腹囲	* 103.8	* 104.6	* 107.5	cm	90未満	正常血压
	安静時血圧	132 / 67	116 / 57	112 / 58	mmHg	~139 / ~89	
	安静時心拍数	61	73	73	拍/分		
	API						
呼吸器	内膜中膜複合体肥厚度				mm		異常なし
	努力性肺活量				ml		
	比肺活量				%		
	1秒率				%		
肝機能	CO濃度				ppm		異常なし
	AST (GOT)	14	18	17	IU/l	5~35	
	ALT (GPT)	16	23	19	IU/l	5~35	
	γ-GTP	20	21	13	IU/l	5~55	
脂質代謝	アルカリフォスファターゼ				IU/l		異常なし
	コリンエステラーゼ				IU/l		
	総コレステロール	211	* 242	181	mg/dl	111~239	
	LDLコレステロール	129.0	* 155.0	98.0	mg/dl	60.0~140.0	
	HDLコレステロール	71.0	77.0	78.0	mg/dl	40~	
糖代謝	トリグリセライド	79	92	49	mg/dl	26~149	糖尿病 (要医療)
	リポ蛋白-a				mg/dl		
	空腹時血糖	*** 225	*** 197	** 130	mg/dl	60~109	
	HbA1c (JDS)			*** 7.3	%	3.6~5.4	
尿酸	インスリン				μU/ml		異常なし
	HOMA指数						
	尿酸	3.5	4.7	3.8	mg/dl	~6.9	
蛋白代謝	総蛋白	7.6	7.4	6.8	g/dl	6.5~8.0	異常なし
	アルブミン	4.4	4.2	* 3.9	g/dl	4.0~	
	A/G	1.4	1.3	1.3		1.2~	
腎機能	クレアチニン	0.60	0.57	0.64	mg/dl	~1.19	異常なし
	eGFR	77.8	82.3	71.8	ml/min/1.73m ²	60~	
	BUN				mg/dl		
尿一般	尿蛋白			-		-	異常なし
	尿糖			-		-	
	潜血			-		-	
	ウロビリノーゲン			±		±	
血液	赤血球数			395 × 10 ⁴ /μl		360~500	異常なし
	ヘモグロビン			12.5	g/dl	11.5~16.0	
	ハマトクリット			36.4	%	33.0~45.0	
	白血球数			4830	μl	3000~9099	
	血小板数			24.6 × 10 ⁴ /μl		13.0~50.0	
検査項目		今回結果			前回結果		
診察		高血圧症治療中 糖尿病治療中 脂質異常症治療中 上室性期外収縮 (正常) 正常範囲 (正常) 正常洞調律 ST-T異常なし 運動負荷陰性 異常なし			正常洞調律 ST-T異常なし 運動負荷陰性		
安静心電図所見 安静心電図診断 負荷心電図所見		7.7 % (3.9~5.8)					
負荷心電図診断 骨密度診断 HbA1c (NGSP)							

※今回結果の前についている * 印は結果が標準域とはずれていることを示し、* は要観察、** は要精検、*** は要医療を意味します。

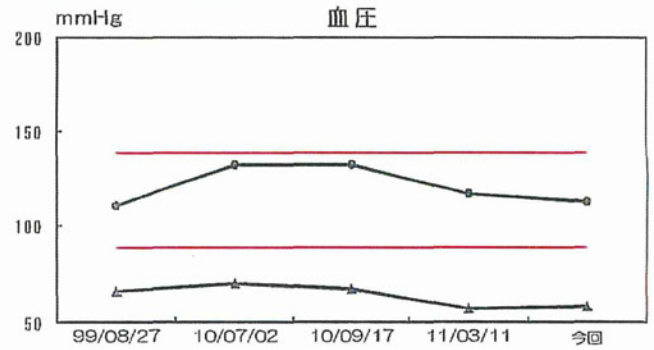
検査結果表2

利用者番号	000349796	フリガナ氏名		性別：女	今回検査日 平成24年 9月 7日 (B)
				様 年齢：61歳	前回検査日 平成23年 3月11日 (B)

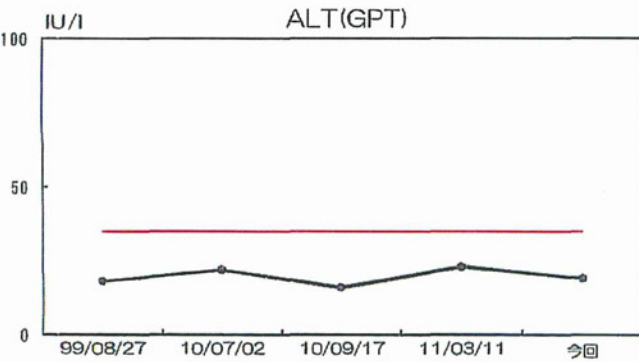
— は、基準範囲です。データの推移に注意しましょう



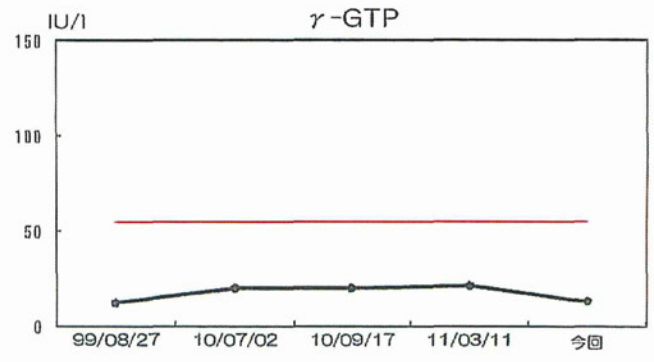
BMI = (体重kg) / (身長m)² の計算で得られる肥満の指数です。25以上を肥満、18.5未満をやせと判定します。



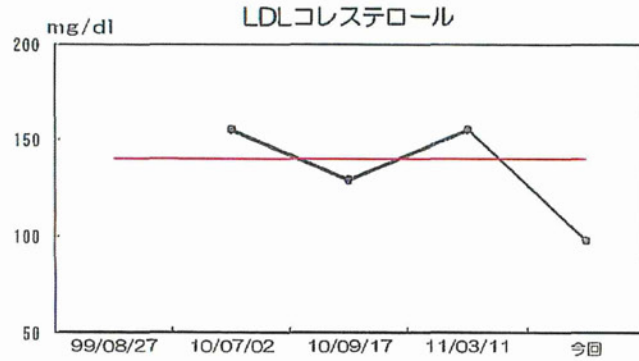
血圧が高いと、脳卒中、心筋梗塞の危険が高まります。収縮期血圧140mmHg以上、もしくは拡張期血圧90mmHg以上を高血圧と判定します。



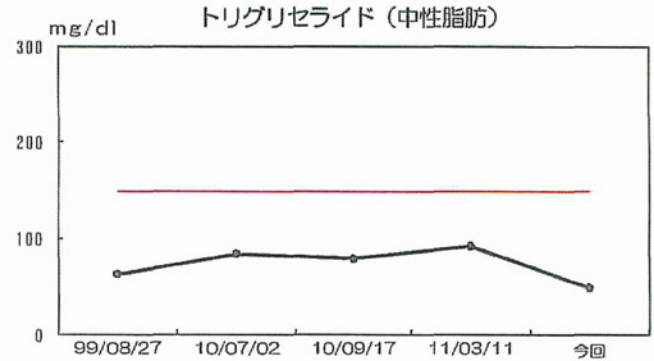
ALTは肝臓で産生される酵素です。高値の場合、肝臓に問題があります(脂肪肝、肝炎など)。



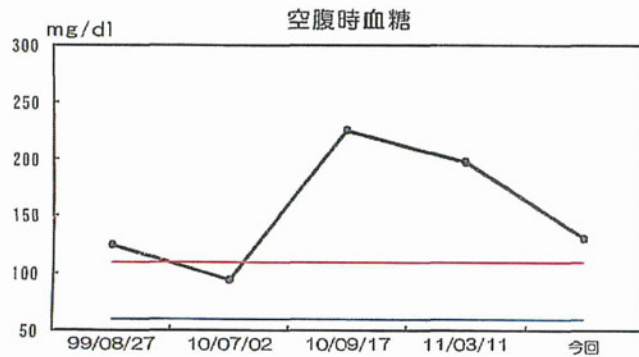
γ-GTPは肝臓で産生される酵素です。多くの場合、飲酒で増加します。



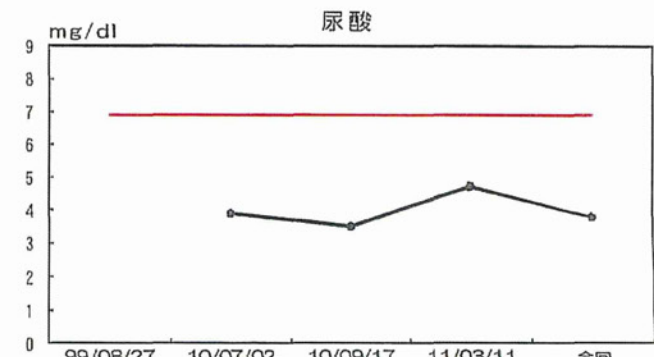
LDLコレステロールは悪玉コレステロールです。高値の場合、心筋梗塞の危険が高まります。140mg/dl以上を高LDLコレステロール血症と判定します。



トリグリセリドは血中脂質の一種で、カロリー摂取過剰もしくは運動不足で上昇します。150mg/dl以上を高トリグリセリド(中性脂肪)血症と判定します。



糖尿病とは血糖値が異常に高くなった状態です。126mg/dl以上の場合、糖尿病の可能性が疑われます。110~125mg/dlでは、軽い糖代謝異常が潜んでいる可能性があります。







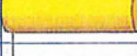









尿酸値が高くなると、血液中に溶けきれず、関節腔内にその結晶が析出し、関節炎(痛風発作)を引き起こします。7mg/dl以上を高尿酸血症と判定します。

あなたの動脈硬化危険度は1

利用者番号	000349796	フリガナ氏名	性別：女 年齢：61歳	今回検査日 平成24年 9月 7日 (B) 前回検査日 平成23年 3月11日 (B)
-------	-----------	--------	----------------	--

あなたの動脈硬化に関する調査

	正常値	危険の度合い
肥満度		
血圧		
糖尿病		
脂質(HDL,TG)		
LDL		
喫煙		
HOMA		

腹囲の測り方

腹囲の測り方には注意点が有ります。正しい測り方はへそまわりを測ることです。臍の一番細いところではないので、気をつけてください。立った状態で、軽く息を吐きながら測ってきましょう。



おへその高さで測りましょう。

HOMA：インスリンの動きの低下（抵抗性）を反映します。この数値が高いと、動脈硬化を起こしやすく、臓腑への負担が大きくなります。

メタボリックシンドローム診断基準

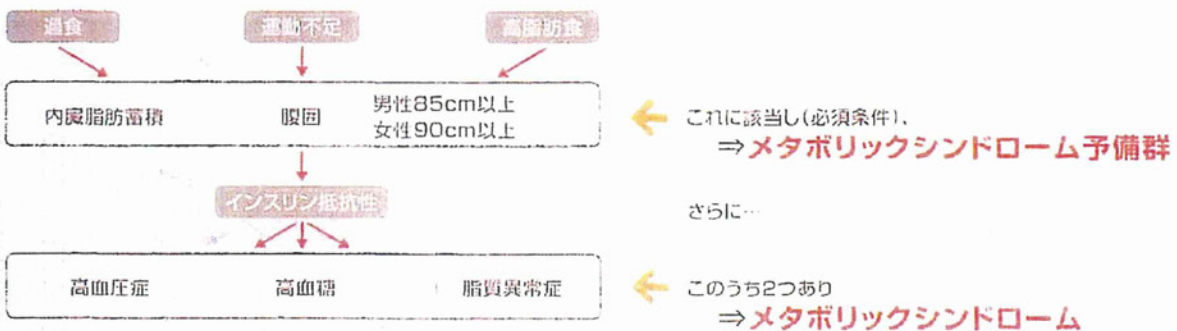
◎ 腹腔内脂肪蓄積	腹 囲	男性 85cm以上 女性 90cm以上
-----------	-----	------------------------

上記に加え以下のうち2項目以上があてはまる。

○ 血 圧	収縮期血圧	130mmHg以上	かつ/または	拡張期血圧	85mmHg以上
○ 血 糖 値	空腹時血糖	110mg/dl 以上	(または	HbA1c	5.5%以上)
○ 脂 質	トリグリセライド	150mg/dl 以上	かつ/または	HDL	40mg/dl 未満

- * 腹囲は腰の一番細いところではなく、おへその高さで計る。
- * 女性は腹囲73cm以上で、内臓脂肪蓄積が始まっている可能性がある。
- * 高血圧、糖尿病、高脂血症に対する薬物療法を受けている場合は、それぞれの項目に含める。

該当する項目をチェックしてみましょう。



動 脈 硬 化



心筋梗塞

狭心症



脳梗塞



閉塞性動脈硬化症(ASO)

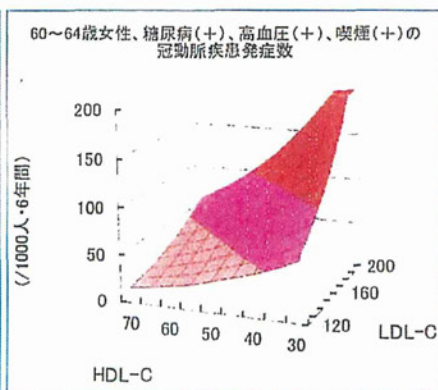
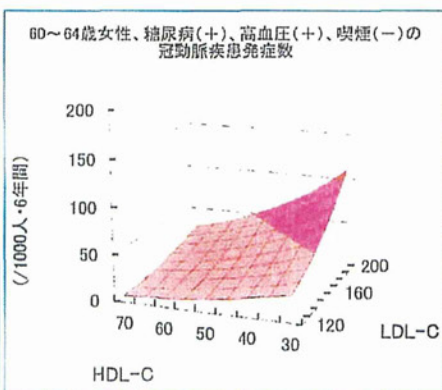
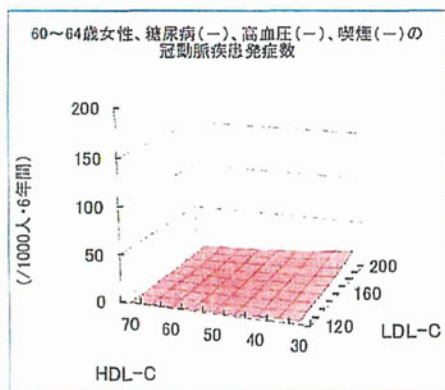
あなたの動脈硬化危険度は2

利用者 番号	000349796	カガナ 氏名	性別：女 年齢：61歳	今回検査日 平成24年 9月 7日 (B) 前回検査日 平成23年 3月11日 (B)
-----------	-----------	-----------	----------------	--

メタボリックシンドロームの基準にはありませんが、動脈硬化に関係する指標としてLDL、喫煙があります。下記の3つのグラフは6年間に冠動脈疾患を発症する頻度を性別、年齢別、主要危険因子（糖尿病、高血圧、喫煙）の有無、LDL、HDLの値から示したものです。（J-LITチャートより）

同じコレステロール値でも糖尿病、高血圧、喫煙などの危険因子が重なると、発症率が高くなります。

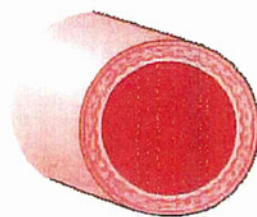
また、危険因子が重なる場合、高脂血症の程度が発症率に影響することを示しています。



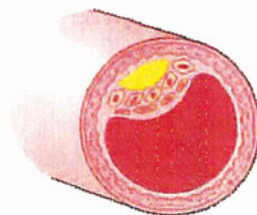
(J-LITチャートより)

あなたはメタボリックシンドロームに該当し、生活習慣病に対して治療の必要があります。メタボリックシンドロームに該当すると、心血管疾患にかかる危険度が20-30倍に高まります。生活習慣を見直し体重をコントロールするとともに、医療機関を受診してください

正常な血管

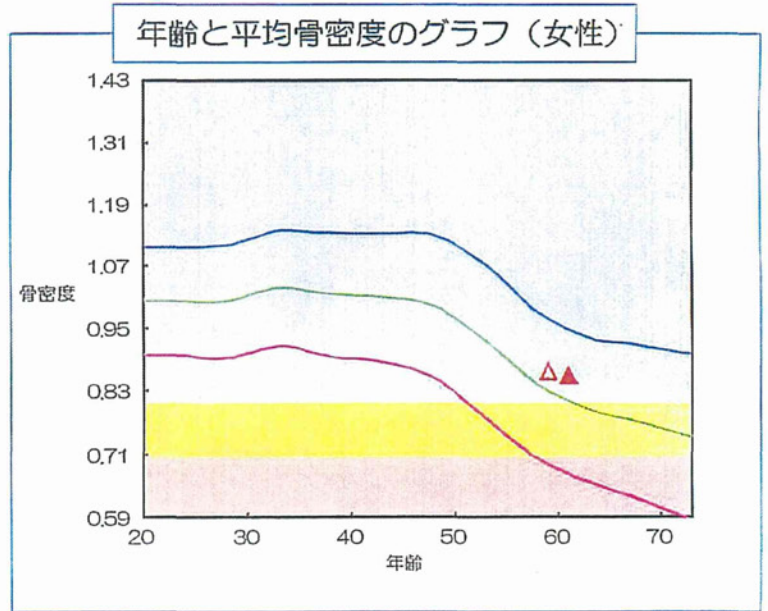
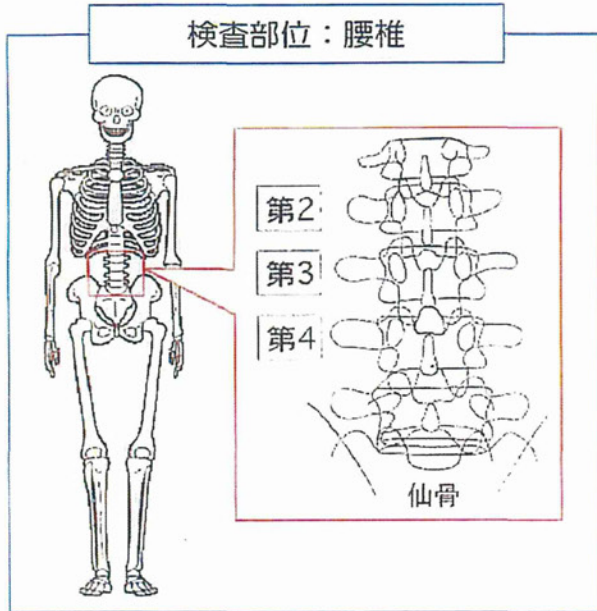


動脈硬化の
進んだ血管



腰椎骨密度検査結果表

利用者番号	000349796	刀がナ氏名	性別：女 年齢：61歳	今回検査日 平成24年 9月 7日 (B) 前回検査日 平成23年 3月11日 (B)
-------	-----------	-------	----------------	--



		第2	第3	第4	平均	標準域	判定	
今回	61歳	骨密度 g/cm ³	0.815	0.828	0.916	0.859		
		YAM % (注1)	—	—	—	85	80~	異常なし
		同年齢比較 % (注2)	—	—	—	107		
2010年 7月2日	59歳	骨密度 g/cm ³	0.810	0.824	0.953	0.867		
		YAM % (注1)	—	—	—	86	80~	異常なし
		同年齢比較 % (注2)	—	—	—	105		
歳		骨密度 g/cm ³						
		YAM % (注1)	—	—	—		80~	
		同年齢比較 % (注2)	—	—	—			

原発性骨粗しょう症の診断基準(注3) (日本骨代謝学会)

正常 YAMの80%以上
骨量減少 YAMの70%以上80%未満
骨粗しょう症 YAMの70%未満

- 注1 YAM：若年成人平均値といい、同性の20～44歳の平均値と比較した値です。
- 注2 同年齢比較：同性、同年齢の平均値と比較した値です。
- 注3 原発性骨粗しょう症：閉経後による女性ホルモンの低下や加齢により骨密度が低下して骨粗しょう症になることです。(低骨密度をきたす他の疾患がある場合を除く)

骨粗しょう症の危険因子

除けない危険因子

加齢・性(女性)・人種(白人>黄色人種・黒人)・家族歴・遅い初経・早期閉経・過去の骨折

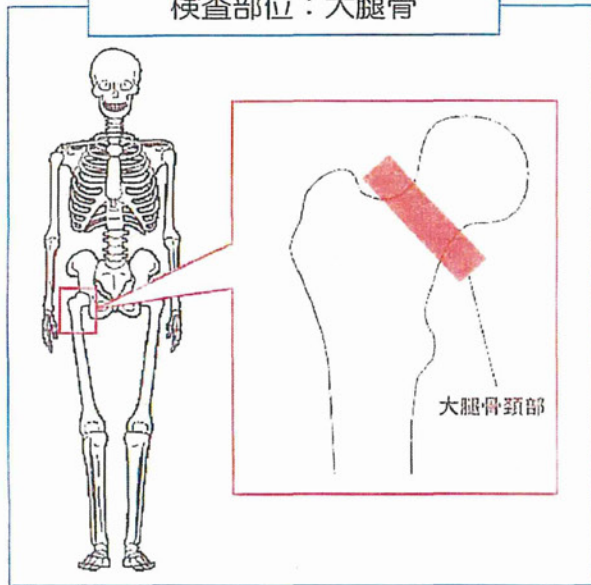
除くことができる危険因子

カルシウム不足・ビタミンD不足・ビタミンK不足・リンの過剰摂取・極端なダイエット・運動不足
日照不足・喫煙

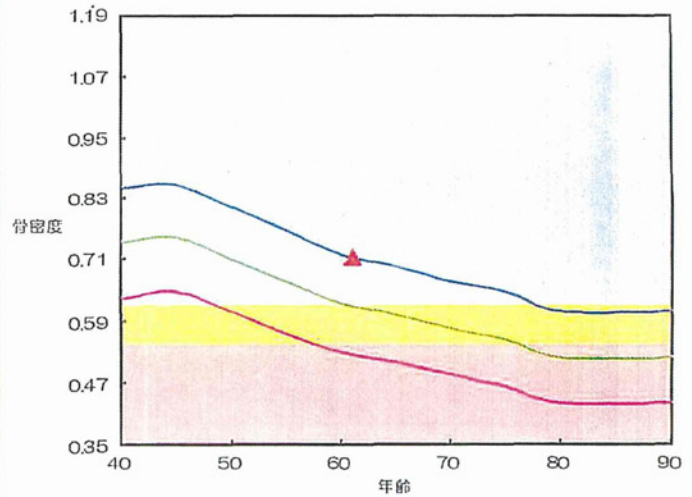
大腿骨骨密度検査結果表

利用者番号	000349796	フリガナ氏名	性別：女 年齢：61歳	今回検査日 平成24年 9月 7日 (B) 前回検査日 平成23年 3月11日 (B)
-------	-----------	--------	----------------	--

検査部位：大腿骨



年齢と平均骨密度のグラフ（女性）



		全体	大腿骨頸部	大腿骨頸部標準域	判定	
今回	61歳	骨密度 g/cm ³	0.883	0.716		
		YAM % (注1)	102	91	80~	異常なし
		同年齢比較 % (注2)	128	116		
歳		骨密度 g/cm ³				
		YAM % (注1)			80~	
		同年齢比較 % (注2)				
歳		骨密度 g/cm ³				
		YAM % (注1)			80~	
		同年齢比較 % (注2)				

原発性骨粗しょう症の診断基準(注3) (日本骨代謝学会)

正常 YAMの80%以上
骨量減少 YAMの70%以上80%未満
骨粗しょう症 YAMの70%未満

- 注1 YAM：若年成人平均値といい、同性の19～39歳の平均値と比較した値です。
注2 同年齢比較：同性、同年齢の平均値と比較した値です。
注3 原発性骨粗しょう症：閉経後による女性ホルモンの低下や加齢により骨密度が低下して骨粗しょう症になることです。（低骨密度をきたす他の疾患がある場合を除く）

骨粗しょう症の危険因子

除けない危険因子

加齢・性（女性）・人種（白人>黄色人種・黒人）・家族歴・遅い初経・早期閉経・過去の骨折

除くことができる危険因子

カルシウム不足・ビタミンD不足・ビタミンK不足・リンの過剰摂取・極端なダイエット・運動不足
日照不足・喫煙